

26年度 岩ネット IN 日和田

所沢ハイキングクラブ 清水 美紀

今期 第一回目の岩ネットが4月19日 日和田で行われた。

前日はまとまった雨が降り、岩が濡れていたら・・・登山道がぬかるんでいたら・・・と気をもんだが、当日は雨の心配はなさそうで日和田に向かった。

川沿いの駐車場に車を止め、一人登山道を目指す。川淵には春の野草、オオイヌノフグリ・オドリコ草・小さなスマレと春満開。

登山道に入ると、ん？間違えた？何だか随分スッキリしちゃって、木が伐採されてかなり先まで見通せる。ハイカーにとってはうれしい限り（でも、ちょっと困るかも）。

10分で岩場到着。体も暖まり、皆さんと挨拶を交わし急いで仕度をする、ルートを確認している場所に上がっていく。南面のいちばん奥と中央よりの2本、久しぶりの岩登りで体調に不安はないか、恐怖心はないか自分に問いながら体をほぐす。

準備が整い集合し、簡単な自己紹介と水谷さんからの諸注意・説明を受け、練習開始。

総勢17名、初参加の方が3名。

ビレーを担当し、それぞれルートの練習に励む、初参加の方々にエイトノットの結び方を教える方、登り始めのザイル結びを点検してくれる方、下からコースを案内・攻略法を教える声。

ビレーしながら、声を張りあげながら、“好きな事を通じて集まって来た人達、自然と役割分担が出来てくるんだなあ”と感心しきり。大人の集まりは違うよ！！

初参加の方々が登っていく姿に、3年前の自分とオーバーラップする。

下からのアドバイスに言葉の意味も理解できず、下から見上げていた岩と実際に登っている岩が全く別のものに思われ、すぐに腕がパンプした。

降りる時に、「ザイルに体重を預けて座るように・手はザイルから離す！」・・・下から聞こえる声に、怖い・無理だし～と、心で叫んだような いや実際叫んだ気がする。

そんな私がビレーしながら、同じ事を叫んでいる。なんと上手く出来ているのか、順繰り、ゆっくり恩返し・・・と私傷なのはここまで。

Kさんの「今日はビレーに徹するよ」に感化されて、よし私もビレーに徹するぞ！と強く思ったのに、ダメ無理！登りたい。ビレー交代して～と声に出して、久々のルートに満面の笑みが隠せない。いちばん奥のルートはスラブを逃げずに登る、これが私の課題。クラックにつま先を入れ、また靴底をスラブ面に押し付けて難なくクリア。

中央のルートは右面使用NG。左のほんの少しハングしている所をトラバースして最後はキョン足でクリアが目標。ここが思った以上に面白い、2回挑戦するも 一回目の方が自分のイメージに近いような気がした。あっという間に午前中は終了。

午後からはビレーに徹し、皆さんのパワーに圧倒されて楽しく充実した一日が終了した。

参加された、皆様ありがとうございました。

今期、見習い理事として一年お手伝いをさせて頂きます。来期は見習いが取れるように努力していきますので、宜しくお願いいたします。